

令和5年度 北海道天売高等学校PTA活動等について

北海道天売高等学校は羽幌町立の夜間定時制高校です。平成28年度から全国募集を行ない、生徒確保に努めております。夜間定時制の多くは4年制ですが、本校は3年で卒業できる3修制を取っていることが特色の一つで、令和5年12月現在の生徒数は16名です。また、地域の特色を活かした教育課程の設定も特色と考えており、学校設定科目に地域の産業と関連のある教科「水産海洋基礎」と天売島の地域・自然を題材に学習する「天売学」があります。

全校生徒16名は昨年度と今年度、全員が島外出身で道内は札幌・旭川・千歳・北広島・浦河、道外からは山口県、三重県、埼玉県の出身者で構成されています。従って、生徒のほとんどは町教委が用意する学生寮と島民が営む下宿の2つで保護者と離れて生活しているとともに、移住してきた家庭、祖父母宅から通学する2名の生徒がいます。このことから、保護者の協力を得た学校行事の企画・運営は難しい面があります。

本校の学校祭は昨年度から7月に実施しておりますが、コロナ前は島で暮らす保護者や地域の方々の協力を得て開催していました。学校祭の内容は模擬店や教室展示、よさこいソーランや天売太鼓の披露などを一般公開して行っています。夜間定時制ではありますが、全日制で行う学校祭に近い充実した内容と自負しております。コロナ禍では一般公開は行いませんでしたが、昨年度から、制限しながら一般公開を行ない、今年度はコロナ前と同様、一般公開をした学校祭を行うことができました。

今年度の学校祭は保護者の協力をお願いしようと計画し、模擬店等の協力を求めたところ、移住してきた家庭と札幌から学校祭に合わせ来島した2名のお母さんが快く協力してくださいました。本校の学校祭の規模は小さいですが、地域の方々そして保護者の協力により活気のある学校祭となり、一般公開には島民の約三分の一にあたる90名の皆様にご来校いただきました。次年度以降も学校祭等への保護者の協力を求め、PTA活動そして学校全体の教育活動の充実に努めたいと考えております。



(保護者:左奥エプロン姿)